

柏市を例とした地方行政の放射能汚染対応評価

修士課程 1年 橋間俊

背景

福島第一原発事故による放射性物質放出



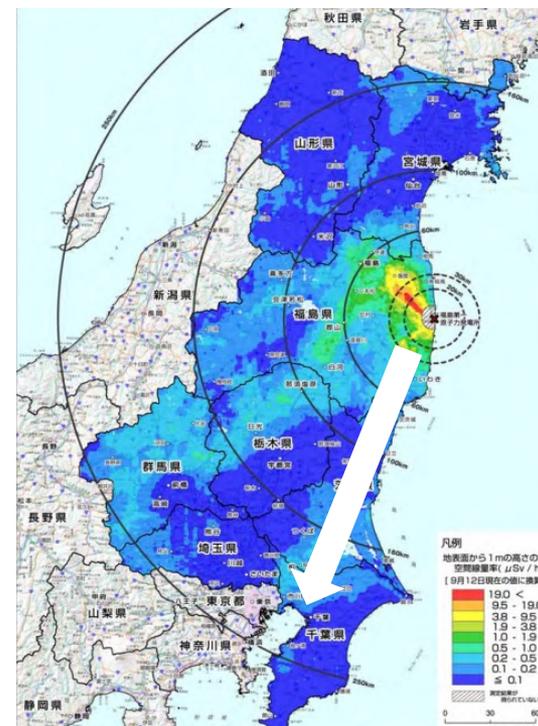
気流により千葉県東葛地区に飛来



降雨により放射性物質が降下、沈着

発生した課題

- ・ 水道水から放射性ヨウ素検出
- ・ 私有地にて高濃度放射線量の確認
- ・ 高濃度の放射能をもつ廃棄物の発生等



柏市における放射能汚染の特徴

- ・ 原子力発電所から約200km離れた地域で高放射線量が確認された
- ・ 独自の施策（市民協働での除染等）を実施した

柏市を例とした地方行政の放射能汚染対応評価

目的

地方行政の放射線対応で得られた知見と国際的な防護基準（ICRP勧告書等）とを照合することにより、より最適な防護体系を確立する

柏市の対応記録をまとめたアーカイブを作製する

(例) 柏市除染実施計画

①市と市民が協働で
除染を実施
(周辺市は市が主導)



- ・放射線知識の理解
- ・不安感の軽減
- ・除染方法の習得
(自身で作業可能)

②年齢、経験によって
各部署から人材を配置

